

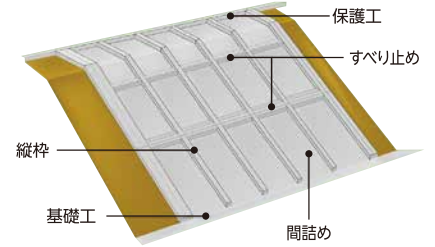
製品概要

縦枠 / すべり止め / 横枠

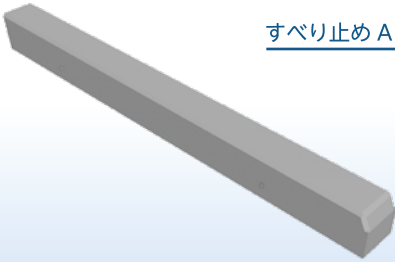
プレキャストコンクリート張護岸は、護岸工事の標準タイプとして広く施工されています。この護岸は、基礎工・縦枠・すべり止め・保護工と組み合わせ、間詰コンクリートを施工して完成します。従来、本工法は現場打設にて施工していましたが、細かな作業が多く、施工を法面で行うため著しく施工性が悪く長い工期を必要としました。

このような状態を解消するため、弊社では、現場で施工する部材の縦枠、すべり止めをプレキャスト化し、その部材をクレーンで据え付けた後、間詰コンクリートを打設する工法を開発し、技術活用パイロット事業などの実施により、その機能性・施工性・経済性から広く普及し、数多くの実績を重ねた信頼性の高い護岸製品です。

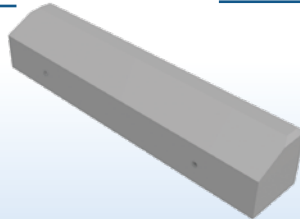
護岸法覆構造



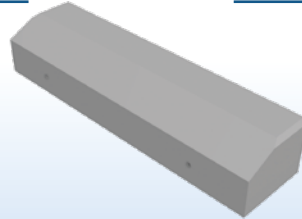
縦枠



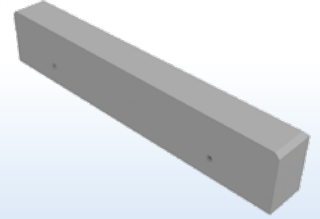
すべり止め A 型



すべり止め B 型



横枠 Y 型



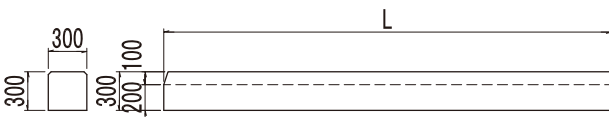
特長

- ◆ 製品は、クレーン等で据え付けることができ、機械化施工が可能です。
- ◆ 施工の手間が省けますので労働力不足の軽減が図れます。
- ◆ 施工の合理化・省力化によって工期の短縮、施工の効率化・工事費の節約が図れます。
- ◆ 部材の寸法は、施工現場の状況に応じて注文が可能です。

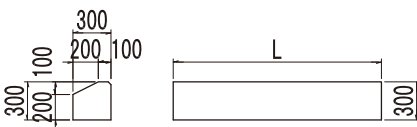


製品図面

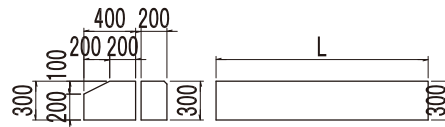
縦枠



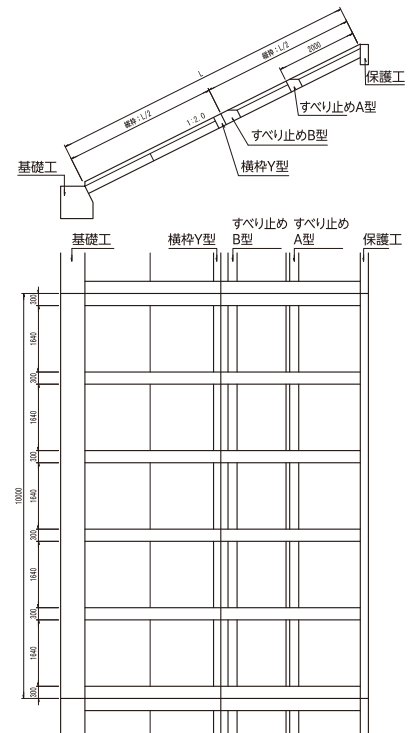
すべり止め A 型



すべり止め B 型 / 横枠 Y 型

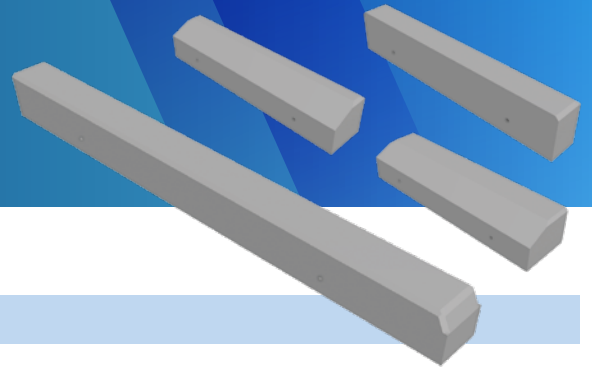


名称	寸法規格	参考重量(kg)
縦 枠	300×300×L	210 (L=1000)
すべり止め A 型	300×300×L	305 (L=1620) 396 (L=2105)
すべり止め B 型	300×400×L	422 (L=1620) 548 (L=2105)
横 枠 Y 型	300×200×L	233 (L=1620) 303 (L=2105)



※河川により上図と配列が異なる場合があります。

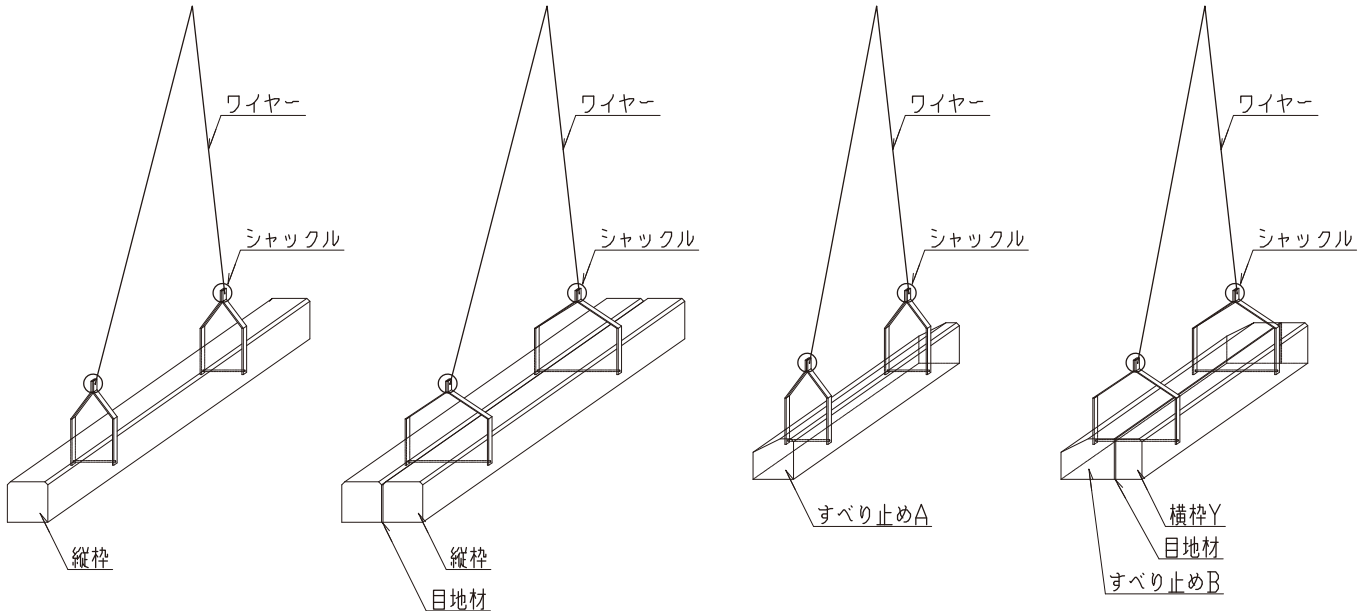
縦枠／すべり止めA型／ すべり止めB型／横枠Y型



1 製品の吊り上げ

- ◆ ワイヤー2本とシャックル2個を用意してください。
- ◆ 安全の為、吊り荷の下には絶対に入らないでください。
- ◆ 弊社から貸し出した吊り金具(※)を使用し、製品に開いた2か所の孔にそれぞれボルトを通し、製品を吊ってください。
- ◆ 吊り金具は貸し出しいたします。
- ◆ 縦枠とすべり止め・横枠は、部材幅によって使用する吊り金具が異なります。
- ◆ 吊り金具の取り扱いには注意してください。

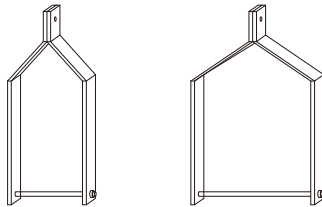
吊り金具取付イメージ



吊り金具



吊り金具イメージ図



※吊り金具は工事終了時にご返却願います。

2 製品の据え付け

- ◆ 丁張りを設置し、製品の施工位置ラインを確認しつつ、安全に据え付けを行ってください。
- ◆ 次頁に従い製品の据え付けを行ってください。
- ◆ 据付時は製品で手足を挟まないよう十分注意してください。

縦枠／すべり止めA型／すべり止めB型／横枠Y型

3 間詰コンクリート打設

- ◆ 間詰コンクリートを打設します。
- ◆ 最後に表面を丁寧に均します

4 製品の目地

- ◆ 指定箇所に目地材の貼り付けを行います。
- ◆ 隅角部はコンクリートで処理します。

施工手順



①縦枠を据付ける部分の均しコンクリートは、凹凸のないように仕上げます。



②あらかじめ均しコンクリートの表面に墨等により据え付ける位置を出し、製品を仮据付けします。仮据付けした製品は「通り」「高さ」を確認しながら微調整し、所定の位置に固定します。



③縦枠の据付けと併せて横枠・すべり止めの据付けを行えば、より一層施工能率が上がります。



④各部材据付け後、直ぐに間詰コンクリートの打設が可能です。